

高田白木租税教育推進協議会代表幹事賞

「あまり知られていない日本の税」

安芸高田市立吉田中学校二年 松浦 心優

みなさんは入湯税をっていますか。日本の方は知っている人がいると思いますが外国から来られた方はほとんど知らない人が多いと思います。

入湯税とは、鉱泉浴場に入るとかかる税のことです。

この集められたお金は、鉱泉源の保護管理施設の整備や観光の振興消防施設、その消防活動に必要な施設の整備などに使われています。

基本的に、一人百五十円ほどですが、地域によって税額は異なる場合があります。

私が、入湯税のことをこの作文に書くこうと思ったきっかけは、日本しかない珍しい税のことを詳しく知り、外国から来られた方に知ってもらえるようになりたかったからです。

私も入湯税のことを最近知り、税のことはあまり興味なかったのですが、近々大人になっていくに連れ税に触れ合うことが多くなっていくと思い、色々な税について調べてみることにしました。

日本以外の国の税に興味をもち調べてみた結果、中世フランスでは「カエル税」や、ハンガリーでは「ポテトチップス税」など面白い税がたくさんでてきました。

私はよくお馴染みの消費税や所得税くらいしかわからなかったけど色々な国には面白い税があることが分かり、少し税への興味をもつことができました。

次に、日本の税について調べた結果、税にはおよそ五十種類もあることがわかり、びっくりしました。

たくさんありすぎてわからなくなりそうです。他にも、税の行き先について調べてみたら、警察官や私たちの小・中学校の教科書などに使われていることは知っていたのですが、新しい研究・開発や、社会保障関係費などに使われていることはあまり知りませんでした。

もし、税金を集めなくなった場合、救急車は多額のお金をはらったり公園がなくなったり、道路も簡単には通れなくなると想像すると税金はとても大切なことが分かりました。

入湯税をきっかけにここまで色々な税に興味をもてたのでこれからの日常生活の中の税にたくさん触れ合っていきたいです。